

平成 27 年度 鳥取県立皆生養護学校小学部（单一障がい学級）教育課程（A）

1 教育目標

一人一人が輝く子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き～

2 努力点・重点

- ・児童理解に努め、学習内容や指導方法を工夫しながら、基礎学力の定着と伸長を図る。
- ・継続、発展していく体験的活動を推進して実践力や判断力の向上を図る。

3 年間授業時数等

指導形態	教科等	努 力 点		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年				
教科別領域別の指導	国 語	・言葉の適切な表現や正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高め、豊かな言語感覚を養う。		3 0 6	3 1 5	2 4 5	2 4 5	1 7 5	1 7 5				
	社 会	・国家や社会の形成者として、国土や歴史に対する理解と愛情を育て、公民的資質の基礎を養う。				7 0	9 0	1 0 0	1 0 5				
	算 数	・算数的活動を通して、数量や図形に関する基礎的な知識や技能を身につけ、生活の中で活用しようとする態度を養う。		1 3 6	1 7 5	1 7 5	1 7 5	1 7 5	1 7 5				
	理 科	・観察や実験等の活動を通して科学的な見方や考え方を育成し、問題解決の能力を育てるとともに、自然環境を大切にする態度を養う。				9 0	1 0 5	1 0 5	1 0 5				
	生 活	・具体的な活動や体験を通して、身近な社会や自然への関心を高めるとともに、自分自身や自分の生活について考え、それに必要な習慣や技能の獲得を図る。		1 0 2	1 0 5								
	音 楽	・表現、鑑賞の活動を通して、音楽活動の基礎的な能力を養い、音楽に親しむ心情と豊かな情操を養う。		6 8	7 0	6 0	6 0	5 0	5 0				
	図画工作	・造形や鑑賞の活動を通して、発想や感じたことを表現する力や豊かな情操を養う。		6 8	7 0	6 0	6 0	5 0	5 0				
	家 庭	・生活に必要な基礎的な知識や技能の定着を図り、自分を取り巻く生活に目を向け、家族に一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。						6 0	5 5				
	体 育	・個々の障がいの実態に応じて、安全に留意しながら運動に親しむ態度や能力を育てるとともに、健康の保持増進・体力の向上を図る。		3 4	3 5	3 5	3 5	2 0	2 0				
	道 德	・実態に応じた道徳的価値にせまる学習内容の設定をし、自分で判断し行動できる能力を育て、自己の考え方を深め集団や社会の中で実践しようとする道徳的実践力を育成する。		3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5				
特別活動	自立活動	・一人一人の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容および指導法の充実に努める。 ・教育活動全体を通して指導の効果を上げるように努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。		1 8 2	1 8 7	1 8 7	1 8 7	1 8 7	1 8 7				
	総合的な学習の時間	・自己の課題を解決・探求する活動を通して、主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることがができるようにする。				7 0	7 0	7 0	7 0				
	外国語活動	・外国语を通じて言語や文化について体験的理解を深め、外国语の基本的な表現に親しみ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						3 5	3 5				
	計			9 3 0	9 9 2	1 0 2 7	1 0 6 2	1 0 6 2	1 0 6 2				
	学級活動	・自己を生かす能力を養い、学級や学校生活をよりよくしようとする心情を育てる。 ・集団の一員として自主的に活動し、健全な生活態度を育てる。		3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5				
	クラブ活動	・望ましい人間関係作りと個性の伸長を図る。 ・集団の一員として自主的、実践的な態度を育てる。					1 0	1 0	1 0				
	学校行事	4月	着任式・始業式 入学式 身体測定	7月	終業式	10月	避難訓練 皆生・プライド・フェスティバル	1月	始業式	1年	3 0	4年	3 1
		5月	校外学習 避難訓練、宿泊 学習	8月	始業式	11月		2月		2年	3 1	5年	3 1
		6月	皆生スポレク祭	9月	修学旅行	12月	終業式	3月	卒業式 修了式・離任式	3年	3 1	6年	4 2

4 児童の実態、特性

- ・日常生活動作の一部に介助が必要である。
- ・障がいがあるために、行動が制約される傾向にあり、体験拡大に支援を要する。
- ・障がいの多様化に伴い、個に応じた指導内容の工夫が必要である。

5 研究課題

「 」

6 特色ある教育活動

- ・本校と近接する3小学校（福生東・福生西・福米西）、児童の出身地小学校、及び、本校周辺地域との交流及び共同学習を推進し、経験の拡大と社会性の育成に努めている。

7 備考

〈授業日数〉

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1年	1 6	1 8	2 2	1 7	1	1 9	2 1	1 9	1 6	1 4	2 0	1 7	2 0 0
2年～5年	1 7	1 8	2 2	1 7	1	1 9	2 1	1 9	1 6	1 4	2 0	1 7	2 0 1
6年	1 7	1 8	2 2	1 7	1	1 9	2 1	1 9	1 6	1 4	2 0	8	1 9 2

*授業の1単位時間は45分とする

*給食時間に給食指導を毎日30分、自立活動として実施する。総計117（1年生は114）時間。

平成 27 年度 鳥取県立皆生養護学校小学部（单一障がい学級）教育課程（B）

1 教育目標

一人一人が輝く子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き～

2 努力点・重点

- ・児童理解に努め、学習内容を精選し指導方法を工夫しながら、基礎学力の定着を図る。
- ・継続、発展していく体験的活動を推進して実践力や判断力の向上を図る。

3 年間授業時数等

指導形態	教科等	努力 点		1年	2年	3年	4年	5年	6年				
教科別領域別の指導	国語	・言語の特徴やまりなどの基礎的な知識の定着を図り、相手や目的に応じた表現方法で自分の思いを表現できる能力を育成する。		238	245	210	210	175	175				
	社会	・体験的・作業的学習を重視し、社会生活についての基礎的理解と地域学習の推進を図り、地域社会の成員としての自覚を養う。				60	80	80	80				
	算数	・生活経験と関連付けた学習の展開に努め、数量や図形に関する生活上で必要な知識・技能を養い、生活の中で使えるような場面を設定することで定着を図る。		136	175	160	165	165	165				
	理科	・観察や実験等の活動を通して自然や事物の性質や働きに関心をもち、実感を伴った理解を図る。				80	90	85	90				
	生活	・具体的な活動や体験を通して、身近な社会や自然への関心をもつとともに、生活上必要となる基礎的な知識や技能を知り、生活の中で生かそうとする態度を養う。		68	70								
	音楽	・表現、鑑賞の活動を通して様々な音楽に親しみ、感性を養うとともに音楽を楽しもうとする心情を育てる。		68	70	60	60	50	50				
	図画工作	・造形や鑑賞の活動を通して表現することの喜びを味わい、自分のイメージや感覚を広げることに努める。		68	70	60	60	50	50				
	家庭	・生活に必要な基礎的な知識や技能を身につけ、自分にとってのよりよい方法で自己の生活に活用できる能力を養う。						60	55				
	体育	・個々の障がいの実態に応じて、安全に留意しながら運動の特性を味わわせ、健康の保持増進・体力の向上を図る。		68	70	70	70	70	70				
	道徳	・実態に応じた道徳的価値にせまる学習内容の設定をし、自分で判断し行動できる能力を育て、自己の考え方を深め集団や社会の中で実践しようとする道徳的実践力を育成する。		34	35	35	35	35	35				
総合的な学習の時間	自立活動	・一人一人の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容および指導法の充実に努める。 ・教育活動全体を通して指導の効果を上げるように努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。		250	257	222	222	187	187				
		・興味・関心のあることの中から課題を見つけ、解決方法を知り主体的に取り組もうとする態度を育成する。				70	70	70	70				
外国語活動		・生活や体験と結び付けて身の回りの外国語に親しみ、簡単な表現に興味・関心をもちコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						35	35				
計				930	992	1027	1062	1062	1062				
特別活動	学級活動	・自己を生かす能力を養い、学級や学校生活をよりよくしようとする心情を育てる。 ・集団の一員として自主的に活動し、健全な生活態度を育てる。		34	35	35	35	35	35				
	クラブ活動	・興味・関心のある活動を楽しもうとする意欲を育てる。 ・集団の一員として協力する態度を育てる。					10	10	10				
	学校行事	4月	着任式・始業式 入学式 身体測定	7月	宿泊学習 終業式	10月	避難訓練 皆生・プライド・フェスティバル	1月	始業式	1年	30	4年	31
		5月	校外学習 避難訓練、宿泊 学習	8月	始業式	11月		2月		2年	31	5年	31
		6月	皆生スポレク祭	9月	修学旅行	12月	終業式	3月	卒業式 修了式・離任式	3年	31	6年	42

4 児童の実態、特性

- ・日常生活動作の一部に介助が必要である。
- ・障がいがあるため行動が制限される傾向にあり、体験拡大に支援を要する。
- ・下学年適用による個に応じた指導内容の精選と指導方法の工夫が必要である。

5 研究課題

「 」

6 特色ある教育活動

- ・本校と近接する3小学校（福生東・福生西・福米西）、児童の出身地小学校、及び、本校周辺地域との交流及び共同学習を推進し、経験の拡大と社会性の育成に努めている。

7 備考

〈授業日数〉

学年	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年		16	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	200
2年～5年		17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	201
6年		17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	8	192

*授業の1単位時間は45分とする。

*給食時間に給食指導を毎日30分、自立活動として実施する。総計117(1年生は114)時間。

平成 27 年度 鳥取県立皆生養護学校小学部（重複障がい学級）教育課程

1 教育目標

一人一人が輝く子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き～

2 努力点・重点

- ・児童理解に努め、個の発達に応じた指導の充実を図る。
- ・継続、発展していく体験的活動を推進して、自主性、社会性の育成を図る。

3 年間授業時数等

指導形態	教科等	努力 点	I 型	II 型	III 型
教科別領域別指導の指導	国語	・言語環境を整え、日常生活の中で使える表現の拡大を図るために努める。	140～175	0～105	
	算数	・生活経験と関連付けた具体的な操作活動を大切にし、数量や形への関心が高まるように努める。	140～175	0～105	
	音楽	・音楽的な芽生えを大切にし、身体表現・歌唱・鑑賞・器楽等の活動を通して、音楽の楽しさを味わうことができるよう努める。	70	70	0～35
	体育	・教材教具を有効に活用し、身体を動かすことの喜びや、友達とかかわる楽しさを味わうことができるように努める。	70	70	0～35
	図画工作	・身近な材料や用具を使った造形活動を通して、造形表現についての興味や関心をもち表現の喜びを味わせるように努める。	70	0～70	
	道徳	・適切な資料選択と指導方法の工夫に努め、道徳的心情を高めるとともに、周囲とのかかわりの中で自分の思いをのびのびと表現する力を育てる。			
各教科等を合わせた指導	自立活動	・一人一人の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容および指導方法の充実に努める。 ・生活全般を通して指導の充実に努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。	187～432	187～642	642～817
	日常生活の指導	・日常生活に必要な基本的生活習慣の定着を図る。	0～105	140～175	175
	生活単元学習	・児童の興味・関心に基づいた題材や遊びを通して、生活経験を豊かにする。 ・人や物へのかかわりを促し、自発的・自主的に活動しようとする意欲を育てる。	140～210	140～280	0～105
特別活動	ゴーゴータイム	・音楽や動きの変化に気づき、音楽に合わせて身体を動かす楽しさを感じられるようにするために、活動に合わせた音楽や音の種類、テンポ等を工夫する。 ・個々の児童に必要な感觉刺激が適切に受け入れられるように、器具や遊具等を使った活動や場の設定の工夫に努める。 ・集団で楽しく活動する経験を通して、他者への意識や関わりを広げられるようにする。			70
	計		930～1062	930～1062	930～1062
	学級活動	・個に応じた指導を充実し、基本的生活習慣を身につけ、楽しい学校生活を送ることができるよう努める。 ・集団で活動する楽しい体験を通して、自発的に活動しようとする意欲を育てる。	35	35	35
特別活動	クラブ活動	・興味や関心のある活動を通して生活経験を広げる。 ・集団活動の中で、役割を担ったり、人との関わりを持とうとしたりする意欲を育てる。		4年生以上 10	
	学校行事等	4月 着任式 始業式 入学式 身体測定 7月 宿泊学習 終業式 10月 避難訓練 皆生・ブライト・フェスティバル	1月 始業式 1年 30 2年 31 3年 31	1年 4年 2年 5年 3年 6年	31 31 42
		5月 校外学習、 避難訓練、宿泊学習 6月 皆生スポレク祭 9月 修学旅行 12月 終業式	2月 卒業式 修了式 離任式 3月	2年 3年 3年 3年	31 6年

4 児童の実態、特性

- ・障がいは重度・重複化（知的障がい・視覚障がい・聴覚障がい等）、多様化傾向にあり、生活全般に介助を要する。
- ・障がいがあるため行動が制約される傾向にあり、体験拡大に支援を要する。
- ・日常的に医療的ケアを必要とする児童が多い。
- ・障がいの多様化に伴い、個に対応した指導内容の工夫が必要である。
I型：中程度の知的障がいを有する児童が多く、知的障がい特別支援学校の教科学習を中心とした指導が適している。
II型：重度の知的障がいを有する児童が多く、知的障がい特別支援学校の教科学習と自立活動を組み合わせた指導が適している。
III型：より重度の知的障がいを有する児童が多く、個々の児童の課題解決のためには自立活動を主とした指導が適している。

5 各教科等を合わせた指導について

日常生活の指導： I型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動）

II型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動）

III型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動）

生活単元学習： I型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動、特別活動）

II型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動、特別活動）

III型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動、特別活動）

ゴーゴータイム： III型（音楽、体育、生活、道徳、自立活動）

6 研究課題 「 」

7 特色ある教育活動

- ・本校と近接する3小学校（福生東・福生西・福米西）、児童の出身地小学校、及び、本校周辺地域との交流及び共同学習を推進し、経験の拡大と社会性の育成に努めている。

8 備考

（授業日数）

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1年	16	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	200
2年～5年	17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	201
6年	17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	8	192

※授業の1単位時間は45分とする。

※道徳にあっては、全教科・全領域で指導する。

※個に応じた指導を重視し、必要に応じて授業時間数に幅をもたせる。

※給食時間に給食指導を毎日30分、自立活動として実施する。総計117（1年生は114）時間。

※教科領域別の指導と各教科等を合わせた指導の時間数は、1年生930、2年生992、3年生1027、4年生以上1062時間。

※但し、1年生は総時間数930の中で、適切な授業時間数を充てる。

平成 27 年度 鳥取県立皆生養護学校小学部（訪問学級）教育課程

1 教育目標

一人一人が輝く子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き～

2 努力点・重点

- ・家庭や他の教員との連携を密にし、児童理解に努め、個の発達に応じた指導の充実を図る。
- ・医療諸機関との連携のもとに、感覚・運動等の機能の向上に努める。
- ・継続、発展していく体験的活動を推進して、社会性の育成を図る。

3 年間授業時数等

指導形態		教科等	努力点								
教科別・領域別の指導	道徳	・いろいろな経験を通して生活する楽しさを味わおうとする態度の育成に努める。									
	自立活動	・教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容及び指導法の充実に努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。	35～280								
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	・日常生活に必要な基本的生活習慣の定着を図る。	0～245								
	生活単元学習	・児童の興味・関心に基づいた題材や遊びを通して、生活経験を豊かにする。 ・人や物へのかかわりを促し、自発的・自主的に活動しようとする意欲を育てる。									
計									70～280		
特別活動	学校行事	4月 着任式 入学式	7月	終業式	10月	皆生・ブライト・フェスティバル、避難訓練		1月	始業式	合計 1、6年 6～24	
		5月 避難訓練	8月	始業式	11月			2月			
		6月 皆生スポレク祭	9月		12月	終業式		3月	卒業式 修了式 離任式	2～5年 6～25	

4 児童の実態、特性

- ・障がいは重度・重複化（知的障がい・視覚障がい・聴覚障がい等）、多様化傾向にあり、生活全般にわたって介助を要する。
- ・日常的に医療的ケアを要する。
- ・感情の発達が未分化で自己表出の力が弱い。

5 各教科等を合わせた指導について

日常生活の指導：生活、国語、算数、音楽、道徳、自立活動

生活単元学習：生活、国語、算数、音楽、図画工作、道徳、自立活動、特別活動

6 研究課題

「 」

7 特色ある教育活動

- ・家庭や地域の医療機関や行政・福祉機関と密接な連携を保って指導する。
 - ・体験的活動を大切にし、人や物へ関わる力の育成に努める。
- 8 備考
- 〈授業日数〉
- ・授業の1単位時間は45分とする。
 - ・1回の授業は2単位時間とする。
 - ・道徳にあっては、全教科・全領域で指導する。
 - ・自立活動にあっては、個に応じた指導を重視し、必要に応じて授業時間数に幅をもたせる。
 - ・各教科等を合わせた指導は、児童の実態に応じて、必要な授業時間数を確保する。
 - ・授業回数は実態に合わせて、1週間に4回までをめどに実施する。